

# Seium

No. 12

2005.12.25

青雲 帝塚山学院泉ヶ丘  
同窓会会報

輝く人

インタビュー ジャーナリスト 綿井健陽 さん  
寄稿

恩師から

CLUB ACTIVITY

図書館より

個人情報保護に関する基本方針

東京同窓会

「帝塚山学院創立90周年記念  
合同同窓会のご案内」



## 帝塚山学院創立90周年記念 合同同窓会のご案内



- 日時 2006年11月12日(日)
- 場所 リーガロイヤルホテル  
タワーウイング3階「光琳の間」
- 時間 11:00～14:00
- ゲスト 久野綾希子  
(帝塚山学院中学・高校卒)  
劇団四季ミュージカル  
『マンマ・ミーア!』  
大阪四季劇場出演
- 会費 6,000円
- お問い合わせ先 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会  
tel. 072-293-8680



来年は帝塚山学院創立90周年を迎えます。それを記念して小・中・高、短大、大学、私たち泉ヶ丘の4校合同で同窓会を行います。皆さんお誘いあわせの上、ご参加をお待ちしております。

### ホームページ開設にあたり

平成17年から、帝塚山学院泉ヶ丘同窓会のホームページが、同窓会員の絆を一層強めるためにということ、帝塚山学院泉ヶ丘中・高等学校のご支援を得て開設されました。

近況やアピールをする場としてインターネットによる双方向性を活用した、他の同窓会にはない獨創性に富んだホームページを作成していきたいと思っております。つきましては、皆様方、同窓会のご協力をいただき内容を充実させていきたいと存じますので、よろしくお願いたします。

しかしながら、今後は、同窓会からの情報や各同窓会員の

泉ヶ丘同窓会会長  
平井 啓一(普二)



ホームページアドレスは、  
<http://www.tezuka-i-h.jp/dousoukai/>  
卒業生の皆さんの  
たくさんのアクセスお待ちしております!!

## 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会

E-mail: [t.izumi@aurora.ocn.ne.jp](mailto:t.izumi@aurora.ocn.ne.jp) HP: <http://www.tezuka-i-h.jp/dousoukai/>

デザイン・印刷 (株) シンカ・コミュニケーションズ

本社 〒586-0001 河内長野市木戸西町1丁目5-7 tel.0721(52)5934 fax.0721(53)3859  
大阪支社 〒550-0015 大阪市西区南堀江1-16-11 RE008ビル 5-E tel.06-6535-8813 fax.06-6535-8814

# 輝く人

ジャーナリスト

わたいたけはる  
綿井健陽さん（普通科5期生）



ジャーナリストとして、世界の紛争・戦争・自然災害取材し、現地からリアルタイムで映像報告・中継リポートされています。皆さんもニュース番組でご覧になられたことがあ

るのではないのでしょうか？  
イラク戦争においては開戦直前から1年半にわたり、バグダッドに留まりながら映像リポートを送り続け、イラク市民の側から戦争の不条理と過酷さを訴えてこられました。その映像をまとめ、ドキュメンタリー映画「Little Birds - イラク戦火の家族たち -」

を撮影・監督、また著書「リトルバーズ」戦火のバグダッドから（晶文社）を出版されました。  
その功績が認められ、日本ジャーナリスト会議が優れたジャーナリズム活動・作品に對して贈る2005年JCJ大賞を受賞。また、第58回口

カルノ国際映画祭では、ドキュメンタリーフィルムの「人権作品」部門で最優秀賞に当たる「人権賞」を受賞。韓国EBS国際ドキュメンタリー映画祭においては、準グランプリに当たるスピリットアワード賞を受賞されました。



## 泉ヶ丘高等学校ではどのような学院生活を送られましたか？

開校もない泉ヶ丘高校に87年5期生として入学しました。自宅が学校のすぐ近くなので、毎朝始業ベルが鳴る直前にあわてて走って登校する毎日でした。当時は普通科が男子、国際科は女子と分かれていて、生徒は有名大学進学を目標にみんな勉強していました。ところが、僕自身はそうした「目標」には途中でついていけなくなり、当時1日7時間の授業をとっても長く感じていました。正直、授業の半分ぐ

らいは机の上で寝ていましたね。「受験勉強」はしなくてよかったです。でも思います。もう少し日本史や世界史はちゃんと勉強しておけばよかったと思います。サッカー部に所属していたので、2年生の冬に引退するまでは毎日サッカーばかりをやっていた高校時代でした。

ました。僕が入学したのが1990年、その前後には、昭和から平成への変遷、天安門事件、ベルリンの壁の崩壊、イラクのクウェート侵攻、湾岸戦争勃発、カンボジアへの自衛隊PKO派遣など世界が激動した時代でした。それにより、世界情勢に関心をかきたてられ、大学時代にはベトナム戦争の本、写真集、記録を図書館でたくさん読んだり見たりしたことが、現在の僕に大きな影響をあたえました。カンボジアはどういうところなのか、ベトナム戦争がどんなもので、どんな傷痕が残っているのかということ、実際に現地へ行って自

分自身の目で見たくなり、大学時代の後半にそれらを訪れたのがきっかけです。また、大学では日本大学の学生が作る「日本大学新聞」の学生記者をやつていて、その時に記事を書いたり写真を撮ったりする経験ができたのも大きかったですね。

## 戦地での取材は常に危険と隣り合わせですね。

銃撃戦や戦闘を取材しているわけではないのでそれほど危険だとは思っていません。それと、銃弾や砲弾が飛び交うところだけが戦地であるとは思いません。戦争の現場とは、人間の尊厳や個人の生活、自由が奪われる場所だと思っています。人間の生活、家族、命を破壊するもの、これが戦争です。イラクでおきている事は、イラクだけで起きています。日本はイラク戦争に直接荷担していません。沖繩の米軍基地で訓練した米軍兵士やヘリコプター、ジェット戦闘機が、そのままイラクに派遣されています。日本はイラク戦争の「出撃基地」ということです。

この映画はイラク戦争のドキュメンタリー映画です。イラクの人達から見たイラク戦争、攻撃される側から見たイラク戦争、空爆される側、殺される側から見たイラク戦争を描いています。映画を通じて少しでも戦争で被害を受ける側の人達の姿や声を見つめて欲しい、聞いてほしいということです。

あの戦争が何であつたのかということを考えるためには、戦争の被害の実態、誰が体どのように殺されたのか、彼らがどんな思いで暮らしていたのか、そういった事を受け止めてから戦争の論議をしたり、考えたり、そして日本の「立ち位置」を想像してほしいのです。

ジャーナリストはいつでも、誰でもなれます。別に弁護士や医者のように国家試験や資格がある職業ではありません。重要なことはまず、「ジャーナリストになる」ということ。それからしか始まらないということです。もう一つ重要な事は「なり続けること」。これが僕にとっても、誰にとっても一番難しい。ある一定の期間だけ、瞬間だけなるのではなく、最終的に5年、10年続けていく何か一つのテーマを取材し、それを発表し続けることができるかどうかということですね。そのためだけにどれだけ耐えることができるか。続けていけさえすれば、何らかのチャンスや機会必ず巡ってくる。そのときに、それまで続けてきた自分の力を発揮できるかでしょう。

## 「Little Birds -イラク戦火の家族たち-」

- 2005 香港国際映画祭正式招待作品
- 2005 テサロニキ国際ドキュメンタリー映画祭正式招待作品
- 2005 モントリオール国際映画祭正式招待作品
- 2005 ロカルノ国際映画祭 人権部門 最優秀賞受賞
- 2005 JCJ大賞（日本ジャーナリスト会議大賞）受賞作品
- 2005 韓国EBS国際ドキュメンタリー映画祭スピリットアワード受賞作品



（提供：Project Little Birds）

## 綿井健陽 Profile

1971年生まれ。97年からジャーナリスト活動を始め、98年から「アジアプレス・インターナショナル」に所属。これまでに、スリランカ民族紛争、バプアニューギニア津波被害、スーダン飢饉、東ティモール独立紛争、マルク諸島（インドネシア）宗教抗争などを取材。01年10月からは3ヶ月に渡り、米国同時多発テロ事件後のアフガニスタン取材し、フジテレビ系列「ニュースJAPAN」、テレビ朝日系列「スーパーJチャンネル」などで、現地から中継リポート。03年～04年にかけては、空爆下のバグダッドや、陸上自衛隊が派遣されているサマワから、テレビ朝日系列「ニュースステーション」「報道ステーション」、TBS系列「筑紫哲也 ニュース23」などで映像報告・中継リポートを行った。2003年度「ボーン・上田記念国際記者賞」特別賞。第41回（2003年度）「ギャラクシー賞」（報道活動部門）「イラク戦争報道～空爆下のバグダッドから『戦後』まで」優秀賞。

## 映画「Little Birds -イラク戦火の家族たち-」を通じて一番訴えたいことは？

映画だけを作っていくわけではなく、テレビも雑誌も新聞も含めて、いろんな形で取材を続けていきたいと思います。紛争や戦争などの取材はもちろんのこと、日本で起きている事も含めて、特に映像による証言・記録を残していきたいです。50年後100年後に生まれてくる人たちのためにも、イラク戦争がなんであったのか、どんなことが起こったのかということを知ることができるよう。

僕自身としては、今自分たちが生き

「有り難うございました。今後ますますのご活躍をお祈りいたします。」

### 最近のお気に入り

片岡綾子(際11)

みなさん、趣味はお持ちですか？

私は社会人5年目にして、ついこの夏前まで無趣味な社会人を通してきました。

強いて言えば、旅行でしょうか…。学生時代は卒業旅行には海外4回！と確かに趣味と言えるくらいは行っていましたが、社会人になってから、休日は昼まで寝て過ごし、夜は友達と飲み会。もともと怠け者体質の私はそんな不健康な日々を送っていました。何かおもしろいことないかな。そう思っていた時、「ゴルフ」に出会いました。

実は私のゴルフ歴は、まだたったの2ヶ月です。始めたきっかけは今年9月の北海道家族旅行です。以前から父親が「北海道ではゴルフやろう！コース回ったらはまるぞ」と言い始め、8月から毎週打ちっぱなしに通うようになりました。

最初は空振りばかりで、体中痛いし、北海道で初コースを回ったらやめてしまっただろうなと思っていました。ところが、ゴルフコースの気持ちいいこと！景色の素敵なこと！しかも、初コースにしてワンオン！すっかりはまって

まいりました。もちろんスコアは散々なものでしたが。

もともと、私の父親はずっとゴルフをやっており、私にもゴルフをさせたかったようです。というのも、私の名前は有名プロゴルファー「岡本綾子さん」から頂いています。それにも関わらず、今までまったく興味もなく、自分からやってみようとは考えたこともありませんでした。

でも、北海道旅行以来は、毎週日曜日の父親との打ちっぱなし練習が私のお気に入りです。今の目標は次回

コースでの「ナイスショット！」です。練習が終わったあとはいつも汗ダクでいい運動にもなるし、日頃の仕事のストレスも発散でき、目標ができたことで、日常にもメリハリがついた気がします。私に趣味を与えてくれた父親に感謝です。

みなさんも、ゴルフとはいませんが、特に社会人の方！趣味を持つっていいものですよ。是非何かにはまってみてください。

### 父との共有点

松浦智香子(際5) (旧姓木木)

幼少期から「大人になったら何がしたい？」ときかれては「何も。」と即答して両親をがっかりさせていました。そんな私に両親が帝塚山学院中学を受験させてくれました。私は兄弟も居らず、父親が大好きでした。平穩に過ごす中学3年の春、その父が突然私の目の前で倒れ、二度と還らぬ人となりました。急性心筋梗塞でした。

生前に父が勧められていたR女子学院大学に憧れて、折角その高い進学率

の国際科に來させて頂けたのに、実際高校生になると父の居ない寂しさに毎日泣いてばかり。何か父との共有点が欲しいと強く思う様になりました。その「何か」を検索し続け、高校2年の時、父と同じ職業はどうかと思いいました。ある日母に「医者になるわ。」と言ひ、猛反対されました。当時の国際科は、ほぼ私立大学文系進学に絞った教育で、母は女子大への入学を望んでいたので当然でした。

その後、進路志望欄に「医大」と書いたところ、校内放送で何度か進路指導室に呼び出されました。この場に及んで医大とはさく自分の非は自覚していましたが、やっと思つた父との共有点をどうしても諦められませんでした。その為か、後に国際科の進路選択の幅が広がったときいた時は率直に嬉しかったです。結局、母は一番の理解者になつてくれ、国際科の授業に無い理数科目は塾と家庭教師に習いました。

現在、病院の整形外科で日々の診療治療に従事させて頂いています。父と同じ内科は学生の時に苦手で選べませんでした。今、父の仕事がとても好きです。そして、父が日々の仕事で経験し、考えたであろう事の二部分でも自分も身を持って体験出来る事が幸せです。今後も先生方や患者さん、外科医の夫から様々な事を教わりながら、父との共有点を持ち続けて行きたいと思ひます。

### ブライダルMCとして輝く

田中知子(際9) (旧姓平井)

私が泉ヶ丘を卒業して、十年の月日が流れました。高校生だったあの頃、まさかマイクを持つ仕事に就いているなと思ひもしませんでした。

私は今ブライダルMCをしています。この憧れの職業に就くまでには、長い道のりがありました。

仕事帰りに専門学校に通ひ、基礎発声練習から実際の披露宴を想定したレッスンまで、幅広く学びました。課

程を終え、プロダクションのオーディションへ！合格したものの、最初は仕事もなく、我慢と努力の日々でした。ようやくプロとしてデビュー、ここからが本当に大変でした。

初めてお逢ひした新郎新婦の、人生最大のイベントの司会をするのです。限られた時間で、情報をいかに多く集め、お二人の希望をどれだけ実現させることが出来るか。

マイクを持つ時間は2時間半ですが、準備には沢山の時間が必要となります。新郎新婦、そして会場のスタッフと割りあげる披露宴が感動的なクライマックスを迎えると、自然と涙がこみ上げてきます。お見送りの際、感謝の言葉を頂戴しますが、感謝すべきは私のほうなのです。幸せのおすそ分けを頂いて、私はまたひとつ成長出来るのだと思ひます。

現在、私は育児休業中です。息子との生活もまた刺激的です。この経験がさらに私のMCを、人生を輝かせてくれることでしょうか。そして将来、息子に「うちのおカネでちょっとカッコイイ」と思ってもらえるよう、MCという仕事に誇りを持ち、これからも私らしく頑張っていきたいと思ひます。

思ひます。



La mia vita è allegria 谷口智代(際々)(旧姓工藤)

帝塚山学院泉ヶ丘高校で学んで20年。あつという間に過ぎてしまいましたが、信頼できる恩師や、友人達と出会い、その人達を支えられながら成長させていただいた20年のように思います。

高校卒業後、音楽大学に進学、就職、結婚。そして主人の静岡県浜松市への転勤。

その後ヤマハ音楽教室でピアノ講師として稼働しています。一見、現在の音楽教育の仕事と、高校時代に学んだ国際科の勉強とは繋がりが無いように思われるかもしれませんが、充実した教育で身に付けた貴重な国際感覚が今の仕事に大いにフィードバック

タイトルにもしましたが、「La mia vita è allegria」(楽しき我が人生)をモットーに、貴重な体験をさせてくれた帝塚山学院泉ヶ丘時代を誇りに、これからも私らしく人生を歩んでいこうと思います。



## 新聞記者という仕事

林英樹 (普13)



百七人の尊い命が奪われたJR福知山線電車脱線事故。新聞記者「二年生」の私は現場に直行し、遺族取材を一月余り続けた。悲しみの渦中にいる遺族を取材することに、体と心はどの意義があるのだろうか。取材を始めて数日。常に迷いと隣り合わせだった。「社会的に大きな事件だから」「遺族の悲しみを伝えるためにも」。

固い背中に響かなかつた。「分かっている。これ以上何を聞きたいねん。遺族に叫ばれるたび、心の中で反問を繰り返した。

取材拒否。だが数日後、お別れ会の取材が突然許された。「娘の分まで頑張ってください。そして時々娘のことを思い出してください。父親の発する一言に、五百人もの参列者が一様に涙を流し、私も思わず涙腺が緩んだ。記者になって二年。初めての経験だった。激しく心が揺り動かされ、途中何度もメモを取るベン先が震えた。「本当にいいお別れ会です」

たね」。私が流した涙に何のてらいもなく、散会後、ただただ正直に気持ちを伝えた。「どうしたね、ありがと」。父親は小さくそう答えた。かげがえない愛娘を失った気持ちだけはきちんと伝えてほしい。父親にとっぴりぎりの決断だったに違いない。その中心に思い至ったとき、この仕事の新たな側面に触れた気がした。

# 恩師から



## 卒業生諸君へ

英語科教諭 若菜 進

泉ヶ丘校が開校して、早いもので20余年の歳月が流れました。ぼくがここにやって来たのは、泉ヶ丘に校舎が移転して2年目でしたから、その20余年のほとんどすべてを見てきたことになります。

校舎の裏山の、禿山同然だった陶器山の木立は、今や、少し大袈裟ですが、原生林の様相を呈してきました。校舎の間のケヤキやクスノキも、今では校舎の屋根に届く勢いです。

初め、「小規模な学校」を謳っていた泉ヶ丘校は、今ではクラス総数32、生徒総数約1,200人の学校になりました。全先生が、全生徒の顔と名前を知っていたのも今は昔。普通科男子、国際科女子というユニークな構成だった泉ヶ丘も、女子クラスは国際科2年、3年の2クラスを残すだけ。あとはすべて共学になってしまいました。

かつては、演劇のみという固い制約のあった泉ヶ丘祭も、今では模擬店有り、バンド演奏ありとツツウの中学・高等学校の文化祭と何ら変わらないイベントに変貌しています。

目を外に転じると、日本はバブルとその崩壊を経験し、阪神・淡路大震災、オウムのサリン事件と立て続けに日本の安全神話が崩壊するような事件を経験しました。また、昔なじみの銀行の名前が次々と消え、外資系の銀行が参入したり、横文字の名前の銀行が増えたり、日本が孤立して生きていくことがあります。困難なことを実感させられます。

国外ではこの間、ソ連が崩壊し、東欧の民主化が進み、東西ドイツの統合が実現し、EUが誕生しました。

この同じ時、世界のどこかで紛争が絶えず、フォークランド諸島で、ソマリアで、北アイルランドで、インド・パキスタン国境で、中東で、カンボジアで、旧ユーゴスラビアで、アフガニスタンで、そしてイラクで無数の人たちが犠牲となり、数千万人の人たちが今もツツウの生活を享受できていません。

初めて、この学舎を巣立っていった諸君がまもなく40歳になろうとしている今、卒業生の子供達が泉ヶ丘校の生徒になろうとしている今、卒業生の諸君が社会に対して果たさなければならない責任はあらゆる意味で大きく、また、君達を送り出した泉ヶ丘校の社会的責任もますます大きくなってきているような気がします。泉ヶ丘校はこういう卒業生を送り出そうとしているのか、あらためて真剣に考えなければならない、一つの節目を迎えているような気がするのです。

卒業生諸君の活躍をお祈りしています。



## 「泉ヶ丘校」は永遠に不滅です!

英語科教諭 和田 吉剛

卒業生の皆さん、お元気でしょうか。私が泉ヶ丘に赴任したのが、1984年、開校2年目でしたから、もう早いもので21年が経ってしまいました。その間、普通科は6期生、20期生、国際科は2・6・9期生の担任をさせてもらいました。それぞれ熱い思い出がありますが、特に、初めて担任した国際科2期生、それに続いての普通科6期生、の印象は鮮明です。開校しばらくは、「ひと味違った進学校」をめざして、多くの行事が教育活動として組まれていました。耐寒登山もその一つで、当時まだ若かったはずでしたが、葛城山系を踏破する登山では、頂上近くで、足が動かなくなり、恥ずかしい思いもしました。スキー合宿も全員が参加という時期で、大学以来というスキーも経験させてもらいました。

その中でもやはり、国際科の韓国研修旅行は忘れられない思い出です。国際科2年目の時は、研修旅行もまだまだ手探り状態。もう1人の担任の岩崎弘美先生と2人で、8月の夏休みを利用して、2度目の下見をしたのは異例のことでした(もちろん自費で(笑))。余談ですが、その下見中に湧き水を少し口にしたのが原因で、ひどい腸炎になり、車いすで伊丹空港に下ろされ、救急車で病院行きというおまけまでありました。交流を始めて2年目でしたから、まだ相手校であるソウルの淑明女子高校は、交流にそんなに積極的ではなかった時期でした。一部の教員が担当しているだけで、学校全体の協力は得られず、担当の先生が交流を翌日にひかえた夜に、私たちのホテルまで内々に打ち合わせに来られたのを覚えています。あれから20年、交流は続いています(厳密には2年次に国際科というクラスができませんが)、韓国を訪れます。淑明との交流はどうなっていくのでしょうか(ちなみに、慶州の蓮花女子高校とは今年が最後となります)。

今年3月には、本校で共学1期生となる普通科20期生の卒業を経験しました。高校1年からの3年間の担任でしたが、半数を占める内部生は中学3年間をいれると6年間泉ヶ丘で、男女共学だったことになり、男子生徒、女子生徒がごく自然に教室で学んでいる姿に新鮮な思いをしました。また、卒業式で、男女が並んで入場してくるのを見て、不思議な感動を覚えました。泉ヶ丘校に赴任する前の15年間、公立高校で経験済みだったのにおかしいですね。この共学1期生も無事卒業し、内外の期待に十分には添えなかったですが、ひとつの仕事をやり返した充実感が残りました。

卒業生の皆さん、君たちがいたことでこの泉ヶ丘校は存在価値があるのです。ここで学んだことを十分その後の人生に生かし、大いに活躍されることを祈っています。この泉ヶ丘を去るまで、いよいよカウントダウンになりましたが、残された日々をせいっぱい生徒といっしょに過ごしていきたいと思っています。



## ◆ 中学校サッカー部 活動報告

中学校サッカー部キャプテン 志村圭幹

僕は、今年サッカー部のキャプテンに選ばれました。キャプテンになつて自分自身で成長できたと思えることがあります。それは、今何をすべきか考える力とチームのことや仲間のことに気を配れるようになったことです。今までは、何をやるにしても人より遅かったのに、練習の準備なども素早く自分から積極的にできるようになりまし。また、チームメイトに指示を出して動かせるようになりまし。しかし、何よりもキャプテンをしていて感じたことは、人をまとめることがとてもむづかしいということです。1つ上の先輩たちは5人しかいなかったせいか、みんなとても仲が良くてまとまっていた。僕達の学年は15人もいるので、意見をまとめることが大変な時があります。だから、みんなが遠慮なく、自分の意見を言えるような明るくてオープンな環境をつくることを心掛けています。

サッカー部には2つの目標があります。1つは東北地区の大会でベスト4以上に入つて大阪府の中央大会に出ることです。残念ながらこの目標はあと1歩のところであ



現できませんでした。もう1つは私学大会で優勝することです。この目標は過去にも先輩達が3度達成しています。自分達には昨年優勝したメンバーが半分残っているの、先輩達ができなかった2連覇に挑戦したいと思っています。

## ◆ 全国大会まであと一歩

中学男子テラ部キャプテン 三ノ浦 駿

テニス部は、限られた時間と少ないコート面数の中で毎日練習しています。男女、中学・高校で活動しているの、僕たち中学男子テニス部が練習に使えるコートは1面だけです。決して恵まれている環境とはいえませんが、一生懸命練習してきました。

昨年の夏、1学年上の先輩たちが引退して新チームになりました。

先輩たちは全国大会出場という目標を果たせなかったため、自分たちも同じ目標を立てました。でも、新チームのメンバーというと、僕も含めて中学に入学してからテニスを始めた者ばかり…。本当に全国大会なんかに行くのかと思いましたが。

顧問の井元先生(普6期)の熱心な指導のもと、一生懸命練習しました。たくさん試合にも出場し、試合に勝った時の喜びや負けた時の悔しさをバネにし、また練習や練習試合をたくさん重ねていきま。そのうちに、公式戦でも良い結果をだせるようになって、その年の11月の私学大会(団体戦)では優勝し、府大会の団体戦でも3位になりました。

その後、冬の寒い時期にも練習や練習試合を重ね、目標にしている全国大会にも近づいていっているような気がしました。今年の春には南大阪大会で優勝し、全国大会大阪府予選の第2シードを取るこ

とができました。全国大会大阪府予選の準決勝戦。相手校は八尾市立大正中学校でした。大正中学校は校区内にジニアの指導に熱心なスクールがあり、そのスクールに常時通っている選手3、4人を団体のメンバーにしている強豪校です。春の南大阪大会では勝利していたのですが、結果はダブルス1

1、シングルス1-2合計2-3の本当に惜しい敗戦となりました。(大正中学校は全国大会に出場しました。)

それでも3位に入賞したので、大阪を代表して関西地区大会に出場しました。この関西地区大会で5位以内に入れば、全国大会に出場できます。1回戦で滋賀の光泉中学校には勝ちましたが、2回戦で兵庫の甲南中学校に負けてしまったのでベスト8とまり。5位決定戦でも負けてしまい、僕たちの夢はかないませんでした。全力で戦いましたが、本当に全国大会まであと一歩だったので、とても悔しく残念でした。僕たちは先輩たちから引き継いだ目標を達成することではできませんでしたが、一歩目標に近づいたことは間違いありません。ぜひ、後輩たちにはこの目標を果たして欲しいと思っています。



## ◆ 華道部近況報告 および20周年記念のお知らせ

顧問 山本倫子

華道部は現在、国際科1名、普通科6名、中学生6名、留学生1名の計14名で活動しています。講師は華道部設立以来ずっと指導をして頂いている南聡花先生で、月2〜3回水曜日に作法室でお稽古に励んでいます。

今年クラブ創立20年目にあたり、南先生は未生流から独立して、ご自分の花伝流生派を興され、泉ヶ丘校においても、「身近に楽しめる生花」をモットーに中学生も高校生も楽しめるよう、毎回いろいろと器を工夫して下さったり、花の取り合わせを考えて下さったりと、一生懸命指導して下さいます。この数年は、伝統的生花だけでなくアレンジも取り入れ、生徒たちに好評です。毎年泉ヶ丘祭では日頃のお稽古の成果を作品展示という形でしています。今までは個人個人で生けた作品を発表していましたが、3年前から部員全員で一つの大作に取り組むことに挑戦しています。泉ヶ丘祭ではクラス単位の舞台発表があるので、その練習もあり、部員が集まって一つの作品を作り上げるのはかなり大変なのですが、



今年も「花のバズル」と題したかわい作品が仕上がりました。

12月にはクリスマスのアレンジがあり、生徒たちは今からとても楽しみにしています。毎年留学生もクラブ活動に参加し、クラブは英語、日本語が飛び交うちょとしたインターナショナル文化交流の場となっています。

先にも触れましたが、クラブ創立20年目にあたり、華道部では来年3月くらいに同窓会をしようと考えております。詳しい日時、場所等は年が明けてからハガキにてお知らせいたしますが、一度是非母校を見がてら、この同窓会にご参加下さい。もちろん南先生も来て下さいますので、懐かしいひと時を一緒に過ごしましょう。住所などが学校の同窓会では把握できていない方もいらっしゃると思いますので、親しい方同士お声をかけあつて、連絡先の変更など学校までお知らせくだされば幸いです。

## 図書館より

司書 小畑 清貴  
司書 河崎千代美

府下でも有数の図書管理システム

泉ヶ丘校の図書館は近年大きく変貌を遂げようとしています。二〇〇二年度から高度にシステム化されたコンピュータを導入し、蔵書検索や貸出返却を行い、図書館全体が大変効率化されています。

活性化され増大する貸出冊数

近年貸出冊数の急増大が上げられます。年間貸出冊数の推移を見てみましょう。一九八六年度(二五七八冊)、一九九六年度(三三二四冊)、二〇〇二年度(六四三三冊)、二〇〇四年度(三六四〇冊)といった具合で、一九八六年度と比較したら昨年度は五倍以上の貸出冊数になっています。無論、大阪府下の学校と比較してもトップクラスです。

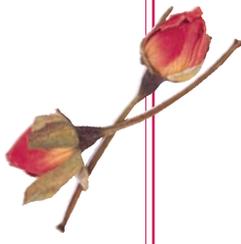
高効率で利便性に富む図書館

人気のベストセラー本などは公共図書館では予約待ち五十件といった事がざらにあり、その上に本の回転効率が悪いので、一年以上待たされるケースもよくあります。

泉ヶ丘校の場合は予約本が返却されたらその日のうちに次の利用者で連絡が入り本を借りる事が出来ます。本が効率的に回転しているの、公共図書館などよりはるかに早く借りる事ができるのです。

こんな話もあります。近所に住む卒業生のお母さんが「近くの公共図書館より泉ヶ丘校の図書館が使いやすくとても気に入っています。娘が卒業しても是非利用させてほしい」と申し出られ、その後もよく来館され利用されています。

卒業生の皆さん、学校に来られたら是非図書館に立ち寄ってみてください。



## 帝塚山学院同窓会連絡協議会 個人情報保護に関する基本方針

帝塚山学院各同窓会（以下同窓会といいます）では、同窓会が収集する個人情報の取り扱いに関して、みなさまのプライバシーを尊重し、以下の内容で細心の注意を払っております。

### 個人情報について

同窓会では、次の情報を「個人情報」として取り扱います。原則として卒業時点の学籍情報をもとに登録している氏名（フリガナ）、卒期、卒回、学部、自宅住所、自宅電話番号等、ある特定の個人が識別され、また識別され得るものうち、同窓会が業務上取得または作成した情報（機械処理以外のものも含む）。

#### 個人情報の利用目的

- ・同窓会名簿の整備
- ・同窓会報の送付
- ・総会、クラス会など、各種行事の開催案内送付
- ・帝塚山学院法人本部からの案内送付（物故者含む）

### 個人情報に関する機密保持について

会員の個人情報についてはコンピュータ管理をしておりますが、ウイルスやハッカー等による情報漏洩を防ぐためネットに繋がず

スタンドアロン方式でおこなっております。

会員の個人情報は、原則として第三者への提供や開示などは致しません。ただし、以下の場合はこの限りではありません。

- ① 法令により開示、提供を要求された場合
- ② 開示提供について書面に申請されたもの限り、本人の同意を得た場合
- ③ 個人の生命、身体、財産の保全上、緊急を要する場合

### 情報の開示を望まない場合

「公開不可」を各同窓会まで書面（ファックスを含む）にて届けてください。目的がクラス会等であっても「公開不可」と致します。



## 「帝塚山学院の各同窓会事務局名を騙った不審なお問い合わせにご注意ください！」

最近、帝塚山学院の卒業生宅に帝塚山学院の各校や各同窓会事務局名を名乗って「アンケートを実施しています」などといった電話がかかっています。その中には、現に帝塚山学院に実在する教員名や職員名を語って、あたかも帝塚山学院の関係者であるような電話もあると聞いています。

しかし、帝塚山学院の各校及び帝塚山学院各同窓会事務局では、一方的に電話などによるアンケート等で個人情報に関する調査は行っておりません。

また、各同窓会及び同窓会が連携して事業を行う場合は、あらかじめ同窓会報やホームページでお知らせしておりますので、各同窓会の会報で確認されるか、各同窓会事務局にお問い合わせください。



### 2006年度 帝塚山学院 東京同窓会のご案内

- 日時 2006年7月8日(土) 12:30 開演
- 会場 ホテル ニューオータニ 美容の間  
(東京都千代田区紀尾井町 TEL.03-3265-1111)
- 会費 10,000 円
- ご招待恩師 津守正一 先生 北岡信美 先生
- ゲスト 川下由理  
「まつぼっくり」「MADAM e DO」「アンサンブル アンダンテ」
- 連絡先 村井美穂子 tel・fax 03-5701-5806  
堀内多英子 tel 03-3490-0726

東京 同窓会総会

去る7月10日、2005年度帝塚山学院東京同窓会総会が東京・お台場のホテル日航東京で行われました。当日は大阪から学院同窓会連絡協議会鶴崎代表を始め来賓の方々にお出でいただき、恩師の先山賢先生、米田伸次先生、桜澤香(旧姓・森岡)先生をお招きして、総勢176名が集い、盛大に行われました。院大室内楽同好会OBからなる「アンサンブル・アンダンテ」の格調高いピアノ六重奏によるオープニングがありました。

グ、45回生の橋本ちづ子(旧姓・島津)さんと「グレイプフルーツ」が歌う懐かしいキャロル・キングのナンバ1、そしてジュニアデー、シニアデーの歌声と美貌そのままの女声コーラス「MADAM e DO」による合唱など、盛りだくさんなエンターテインメントもあり、出席者は恩師の先生方のテーブルに集まってお話を聴いたり、仲間どうしでテーブルを歩き来して歓談するなど大いに盛り上がりました。